

平成 29 年度 若手 砂防・土木技術者のための奥飛騨研修会の開催案内

NPO 法人 山の自然・文化研究センター
公益社団法人 砂防学会 事業部会

近年、河川や砂防に関する技術的課題に対して従来よりも、さらに質の高い対策が要求されるようになってきたと感じられます。たとえば、流砂系総合的土砂管理の必要性が提言されて以来、河床変動計算だけでは解決できない生態系の問題も含んだ質の高い土砂管理に向けた解析が必要になってきています。また、流砂系という言葉が日常的に使われるようになり、それにつれて山地流域の土砂生産や土砂流出現象の解明とその予測の重要性が改めて認識され、土砂生産や土砂流出に関するより詳細な情報が必要になってきています。そこで、砂防学会では、特定非営利活動法人山の自然文化研究センターと共催で、質の高い解析につながるような現地研修会を企画しました。

研修会では、将来の砂防・土木技術者の有望な人材である学生の皆さんに対して、現役の土木・砂防技術者の皆さんから実際の業務内容について、やりがいや困難な点なども交えて伝えていただく場を設けるなど、技術者・研究者・学生の顔と顔を合わせた交流の場を提供する事も目的としています。

記

若手 砂防・土木技術者のための奥飛騨研修会

主催：NPO 法人 山の自然文化研究センター

共催：(社)砂防学会

協力：京都大学防災研究所 附属流域災害研究センター 穂高砂防観測所

1. 対象：砂防・土木技術者および学生（若手技術者、学生の皆様の参加を歓迎します）
2. 定員：100 名（先着順）
3. プログラム：
 - ① 講習会「ダム排砂が河川環境へ与える影響」
 - 1) 小渋ダム土砂バイパスモニタリング計画
天竜川ダム統合管理事務所 石田勝志 専門官
 - 2) 河川における土砂輸送と生息場と生物多様性－DNA 解析の活用
愛媛大学 渡辺幸三 教授
 - 3) 排砂による環境への影響を把握するための調査手法について ～環境 DNA の可能性～
(株)建設環境研究所 加藤康充氏・太田宗宏氏
 - ② 河川環境モニタリング技術の現地研修
 - ③ 土砂生産場等の現地見学会
 - ・土砂生産域巡検（ヒル谷）
 - ・タイプの異なる砂防ダム見学（蒲田川）
 - ・上々堀沢土石流観測現場見学（上高地）
 - ④ 砂防施設見学会

⑤ 砂防・土木技術者と学生の意見交換会

4. 実施場所：京都大学防災研究所 附属流域災害研究センター 穂高砂防観測所
(高山市奥飛騨温泉郷中尾)

アクセス：

最寄バス停は中尾湯元（もしくは高原口）

- ・ JR 高山駅から路線バスで約 1.5 時間
- ・ 新宿から高速バスー平湯温泉で乗り換えー路線バス
- ・ JR 富山駅からレンタカーで約 2 時間
- ・ 富山空港からレンタカーで約 1.5 時間

5. 開催日時：

平成 29 年 7 月 1 日(土) 15:00

～3 日(月) 12:00

6. 費用：

- | | |
|---------------------------------------|---------|
| ① 参加費 | 無料 |
| ② テキスト代 | 1,000 円 |
| ③ 保険料 | 実費 |
| ④ 宿泊費 | 実費 |
| (社会人：12,000 円/泊程度、
学生：7,000 円/泊程度) | |
| ⑤ その他（昼食代等） | 実費 |

7. 申込み方法：

氏名、住所、生年月日、所属、宿泊希望日を、下記メールアドレスにお送りください（基本的に主催者で宿の手配を行います。希望がありましたら申し込み時にご連絡ください）。

なお、住所（所属先のもので可）、生年月日の個人情報は、傷害保険への団体加入の際に必要です。その他の目的には使用せず、情報漏えいのないよう万全の注意を払います。

8. 申込み期限：

平成 29 年 6 月 23 日(金)

9. 申し込み・問い合わせ先（事業部会担当）：

京都大学防砂研究所 穂高砂防観測所

堤 大三

E-mail: tsutsumi.daizo.8m@kyoto-u.ac.jp

TEL: 0578-89-2154

※ この研修会は技術士 CPD の対象になります。

以上